

モイゼルト軟膏を 使用される方へ



監修

医療法人桜仁会 いがらし皮膚科東五反田 院長
五十嵐 敦之 先生



アトピー性皮膚炎の治療薬

アトピー性皮膚炎の薬物療法には、外用剤(塗り薬)や内服剤などが用いられます。症状や年齢により使い分けます。医師の指示に従って使用しましょう。

外用剤(塗り薬)

- ステロイド剤(軟膏、クリーム、ローション、テープ剤など)
ストロングスト、ベリーストロング、ストロング、ミディアム、ウィークの5ランク
- カルシニューリン阻害剤(軟膏)
- ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤(軟膏)
- ホスホジエステラーゼ4(PDE4)阻害剤(軟膏)

内服剤

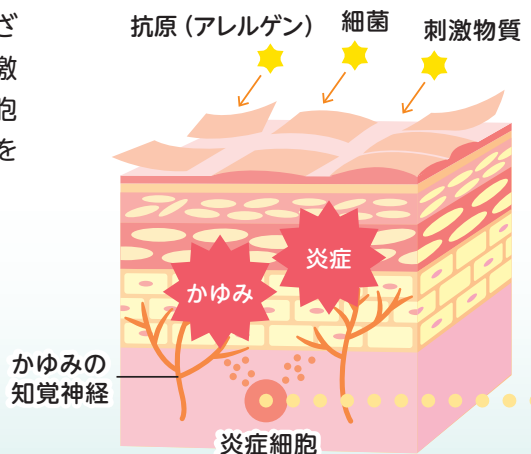
- 抗ヒスタミン剤
- シクロスポリン
- ステロイド剤
- 漢方剤
- JAK阻害剤

注射剤

- モノクローナル抗体製剤

アトピー性皮膚炎の皮膚の状態

皮膚のバリア機能が低下し、さまざまな抗原(アレルゲン)や細菌、刺激物質が入りやすくなり、炎症細胞が活性化されて、皮膚炎やかゆみを起こすと考えられています。



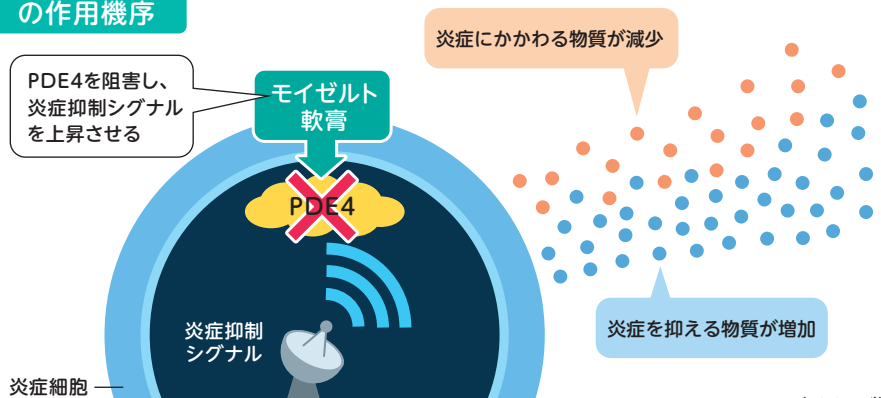
モイゼルト軟膏

- モイゼルト軟膏は、PDE4阻害剤という、ステロイド外用剤や免疫抑制外用剤などとは異なる新しい作用をもつ塗り薬です。
- PDE4は、炎症細胞において炎症を抑えるシグナルを分解してしまう酵素で、アトピー性皮膚炎の患者さんの炎症細胞で増えていることが知られています。
- モイゼルト軟膏はPDE4を阻害することで、炎症を抑制するシグナルを上昇させて、アトピー性皮膚炎の炎症とかゆみを改善します。

拡大図



モイゼルト軟膏の作用機序

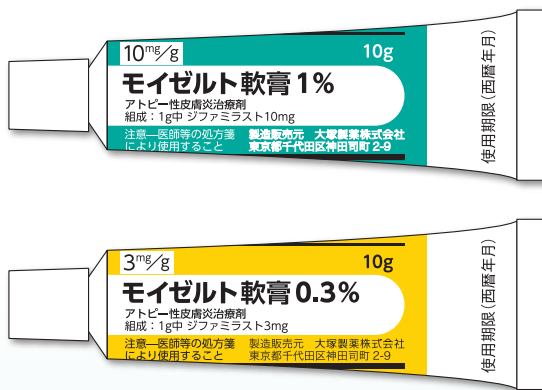


(イメージ)

使い方、使う量は医師、薬剤師の指示に従ってください。

- 通常、成人には1%製剤を1日2回、適量を患部に塗布します。
- 通常、小児には0.3%製剤を1日2回、適量を患部に塗布します。症状に応じて、1%製剤を1日2回、適量を患部に塗布することがあります。
- 1回あたりの塗布量は、0.1m²あたり1gを目安としてください。
- 治療開始から4週間塗り続けても症状がよくなる場合は、医師にご相談ください。
- 症状が改善した場合の継続投与の必要性については、医師または薬剤師の指示に従ってください。小児の場合、1%の製剤で症状が改善した場合は、0.3%の製剤に切り替えることがあります。薬の切り替えについては、医師または薬剤師の指示に従ってください。
- 低出生体重児、新生児または生後3箇月未満の乳児を対象とした有効性及び安全性を指標とした臨床試験は実施していません。

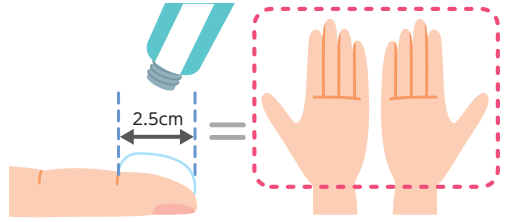
10gチューブの製剤



自己判断で中止したり、量を加減したりせず、
医師の指示通りに塗りましょう。

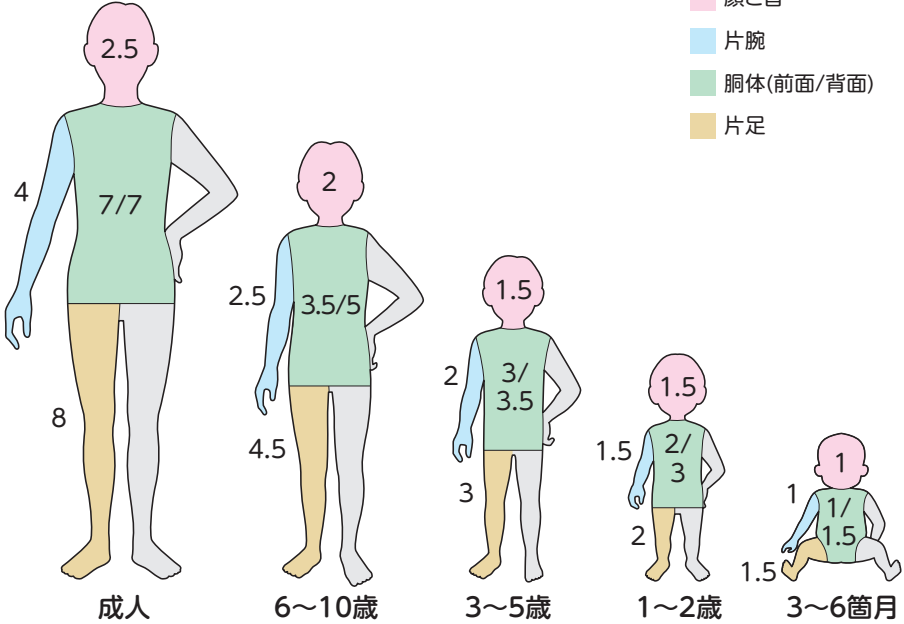
使用量の目安

1フィンガーチップユニット(FTU)として、軟膏チューブから2.5cm圧出した量(約0.35g)は、大人の手のひら約2枚分の皮疹面積に必要な塗布量です。

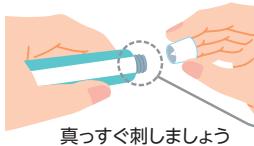


各部位の塗布量の目安(単位:FTU)

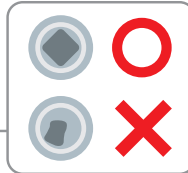
- 顔と首
- 片腕
- 胴体(前面/背面)
- 片足



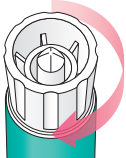
⚠️ モイゼルト軟膏のチューブの開け方と閉め方



真っすぐ刺しましょう



キャップの裏の突起部分をチューブの出し口へ真っすぐ刺し込んでください。キャップを斜めに刺して穴を開けた場合、軟膏が適量でないことがあります。



半回転で開閉し、カチッと閉まるキャップ

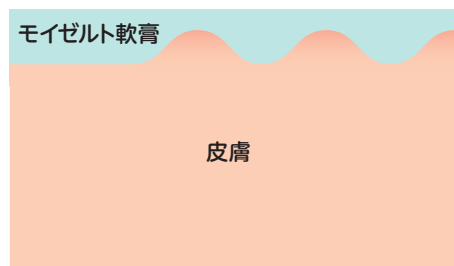
キャップが半回転で開閉できるチューブを採用しています。閉めるときは、もれを避けるためにカチッとするまで閉めましょう。

モイゼルト軟膏の塗り方

すり込むように塗ると、摩擦で患部が刺激され、炎症が増悪します。患部を刺激しないように、軟膏をのせるように塗ることが大切です。

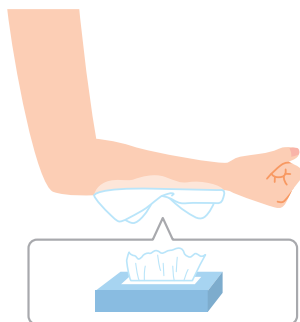
塗り方のポイント

のせるように塗りましょう。



(イメージ)

ティッシュが皮膚にくっつく程度に塗りましょう。



モイゼルト軟膏使用時の注意点

モイゼルト軟膏の副作用

●モイゼルト軟膏を使用すると、以下のような症状が塗布部位にあらわれることがあります。

- 色素沈着
- 膿疱疹(とびひ)
- ざ瘡(にきび)
- 赤み
- 刺激感
- 腫れ
- 毛包炎(おでき)
赤い発疹で、膿をもっていることもあります。
- 接触皮膚炎(かぶれ)
何らかの物質が接触することで起こり、接触した部分がかゆくなったり、赤くなったり、小さな水ぶくれができたりします。

上記以外にも、そう痒(かゆみ)などの副作用が出る場合がありますので、気になる症状があらわれた場合は、すぐに医師または薬剤師に相談しましょう。

皮膚感染症のある人

- 皮膚感染症と診断された部位を避けて使用してください。

モイゼルト軟膏を塗り忘れた場合

- 2回分を一度に塗らず、塗り忘れに気づいた時に1回分を塗りましょう。
- 次に塗る時間が近い場合は、予定の時間に1回分のみを塗りましょう。

モイゼルト軟膏が眼に入ってしまった場合

- 万が一、眼に入った場合、直ちに水で洗い流してください。

モイゼルト軟膏の保管方法

- 直射日光を避けて、室温で保管してください。



モイゼルト軟膏を使用できない人

- 過去に、モイゼルト軟膏に含まれる成分で過敏な反応があらわれた方は使用できません。

妊娠・授乳中でのモイゼルト軟膏の使用

- 妊娠する可能性のある方は、モイゼルト軟膏の投与中及び投与終了後、一定期間*は適切な避妊を行う必要がありますので、医師に相談してください。

*モイゼルト軟膏の血中消失半減期及び個体差等を考慮して最低2週間を推奨します。

- 妊婦または妊娠している可能性のある方は、医師に相談してください。
- 授乳している方は、授乳を継続するか中止するかを決める必要があるため、医師に相談してください。

